

# 若松港築港関連施設群

## ⑥ 弁財天上陸場

大正6年頃、建設された階段式護岸です。人々の船への乗降や荷役作業に使用されました。



## ⑤ 若松南海岸物揚場

昭和初期に整備された花崗岩積みめの堤体です。若松バンドと呼ばれるレトロ調に修景された通りの一部となっています。



## ② 東海岸通護岸

①と同時期に埋立護岸として建設された石積み堤体です。ゆるやかなカーブを描いて約350m続いています。



## ① 東海岸係船護岸

1892年に防波堤として建設された石垣です。延長1700mのうち約850mが護岸として現存しています。



⑥

⑤

④

③

②

①



## ④ 出入船舶見張り所跡

洞海湾に出入りする船舶の不正入港を監視するために昭和6年に設置されました。



## ③ 測量基準点

明治時代に使用された測量基準点です。わかちく史料館敷地内に当時の標石をそのまま展示しています。

